

オリジナルのスキットをつくろう

～ At a Nature Park NEW CROWN (1年) Lesson 4 ～ (活用の時間)

指導内容

- ▼指導内容 既習の表現を用いて質問したり、適切に応じるようにさせる。
How many ___?や命令文を習得させ、スキットをつくらせる。
- ▼つきたい力 習得した表現を用いて、場面や状況を設定して、それに適した表現や動作を交えて内容を表現することができる。

技能と評価

評価する主な技能	<input type="checkbox"/> 聞くこと <input checked="" type="checkbox"/> 話すこと <input type="checkbox"/> 読むこと <input type="checkbox"/> 書くこと
評価する主な観点	<input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーションへの関心・意欲・態度
	<input checked="" type="checkbox"/> 外国語表現の能力
	<input type="checkbox"/> 外国語理解の能力
	<input type="checkbox"/> 言語や文化についての知識・理解
評価する主な方法	<input checked="" type="checkbox"/> ペーパーテスト評価 … 定期テスト等
	<input checked="" type="checkbox"/> パフォーマンス評価 … スピーチ、面談等
	<input type="checkbox"/> ポートフォリオ評価 … レポート、絵日記等

その他

- ◆「活用の時間」について: 4つの技能を統合的に活用したコミュニケーション活動
習得した表現を用いて、場面や状況を設定してスキットの内容を考えることで、適切に質問・応答する(「聞くこと」「話すこと」)ことについて理解を深める。
- ◆「習得の時間」について: スモールステップを踏んだ授業の工夫
チャンツやゲームを活用して、既習の表現の復習や新出語彙の習得を図る。ICT 機器を活用し、意味や内容のまとまりを意識した本文の音読を行うことで「活用の時間」での表現につながるようにする。
- ◆外国語活動との連携について
表現の関連: 英語ノート1 How many?
数で遊ぼう
Hi, friends! 1 How many?
いろいろなものをかぞえよう
内容の関連: 数字について



一般動詞：現在形 (NEW CROWN Lesson4 At a Nature park)

1. 単元の目標

1. スキットにおいて間違いを恐れずに話す。
2. 既習の表現を使い、自分の考えや意見を伝える。
3. 相手の質問や依頼などを聞いて、適切に応じる。
4. 疑問詞 how を用いた文の構造を理解する。
5. 命令文を用いた文の構造を理解する。

2. 単元について(教材観・指導観)

本単元では、校外学習を通じて、自然環境の保全に触れる内容である。教科書本文はすべて対話文で構成されているので、この単元では、クラスメイトとスキットを行う。また、その活動を通じて、相手の質問や依頼などを聞いて適切に応じることや、既習の表現を使い自分の考えや意見を伝えることができる力を養う。

3. 単元の評価規準

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化に関する 知識・理解
・スキットにおいて、間違ふことを恐れずに話している。	・既習の表現を使い、自分の考えや意見を伝えることができる。	・相手の質問や依頼などを聞いて、適切に応じることができる。	・疑問詞 how を用いた文の構造を理解している。 ・命令文を用いた文の構造を理解している。

4. 単元の指導計画

	ねらい	言語材料	主な学習活動	評価方法
1	・疑問詞 how、命令文を用いた文の構造を理解する。 ・疑問詞 how、命令文を使えるようにする。	How many rackets do you have? I have two rackets. Don't use my camera.	・教科書を通して、疑問詞 how や、命令文の構造を理解する。 ・疑問詞 how や、命令文が使えるようにパターン練習をする。	【ペーパーテスト】 ・疑問詞 how や、命令文の用法を理解しているか。
2	・疑問詞 how、命令文を活用して、本文の内容を理解する。		・教科書本文を意味理解する。 ・教科書本文をセンテンスリーディングする。 ・教科書本文の内容について応答練習をする。	【活動の観察】 ・疑問詞 how、命令文を活用して、本文の内容を理解しているか。

3	<ul style="list-style-type: none"> ・疑問詞 how、命令文を含むスキットの原稿をグループで作成する。 ・スキットの原稿を作成する活動中に、相手の質問や依頼などを聞いて、適切に応じることができる。 	<p>スキット例</p> <p>A: Hi, B! What's up? B: I'm OK. A: Do you like apples? B: Yes, I do. A: How many apples do you eat a day? B: I eat ten apples every day. A: Ten apples? Don't eat too many. B: Don't eat too many... I like apples very much. There is an old saying, "An apple a day keeps the doctor away." A: But, in your case it is "Ten apples a day call the doctor to your home."</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書本文を参考に、疑問詞 how や、命令文を用いたスキットの原稿づくりをする。 	<p>【活動の観察】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スキットの原稿を作成する時に、相手からの質問や依頼などを聞いて、適切に応じているか。
4 本 時	<ul style="list-style-type: none"> ・スキットで間違ふことを恐れずに話す。 ・既習の表現を使い、自分の考えや意見を伝える。 		<ul style="list-style-type: none"> ・スキットで発表 	<p>【活動の観察】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スキットで間違ふことを恐れずに話しているか。 ・自分の考えや意見を、既習事項を活用して伝えているか。

5. 本時(活用の時間)について

(1) 本時の目標

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. スキットにおいて間違ふことを恐れずに話す。 2. 疑問詞(how)や命令文を用いて、自分の考えや意見を伝える。 |
|---|

(2) 本時の評価規準

- スキットで間違いを恐れずに話している。
- 疑問詞(how)や命令文を用いて、自分の考えや意見を伝えている。

(3) 本時の指導計画

	生徒の活動	教員の支援		指導の留意点
		JTE(T1)	ALT(T2)	
	<p>1. ウォームアップをする。 (7分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数字のチャンツ“Ten Steps”をする。 		<ul style="list-style-type: none"> ・外国語活動で慣れ親しんだ“Ten Steps”でチャンツをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・“Ten Steps”のチャンツは、「英語ノート1」の Lesson 3 (p17)に掲載。

	生徒の活動	教員の支援		指導の留意点	
		JTE(T1)	ALT(T2)		
導入	<ul style="list-style-type: none"> ゲーム “Don't say 20”をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○“Don't say 20”の説明をする。 ・英語教育支援員 (ALT)と教員 (JTE)で見本をみせる。(例) 		<ul style="list-style-type: none"> ・“Don't say 20”ペアで行うゲームです。順番に数字を積み重ね、20 (またはそれ以上)を言った方が負けになります。 	
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>JTE: How many notebooks do you have? ALT: I have seven notebooks. How many pens do you have?</p> <p>JTE: I have eight pens. How many legs does a spider have? ALT: It has eight legs.</p> <p>* ここまで出てきた数字 (7冊、8本、9本) で合計が20を超えます。したがって、教科担当 (JTE) の勝ちです。</p> </div>			
	<p>2. スキットの内容を確認する。(5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員 (JTE)の説明を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○スキットを説明する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・数を聞く表現 (How many) と命令文 (Don't)を含んだオリジナルスキットを発表。 ・発表の制限時間は、3分。 ・各グループの発表後、コメント用紙に感想を記載。 </div>	<p>例)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>(AさんとBさんがそれぞれ3つずつオレンジの入ったカゴを持って登場する)</p> <p>A: How many oranges do you have? B: I have 3 oranges. I like oranges. (Aさんがよそ見をしている間にBさんが、Aさんのオレンジをひとつカゴから取り出す。)</p> <p>A: Me, too. How many oranges do you have? B: I have 4 oranges. I like oranges. A: Don't eat my orange. That's my orange.</p> </div>		
	<p>3. スキットの最終準備と練習をする。(10分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループの代表は、発表順をくじ引きする。 ・各グループでスキットに必要な最終打ち合わせと、セリフを音読する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○スキットへ向けて机間指導による支援 ・セリフの音読につまずいている生徒を中心に、ジェスチャーや感情を込めて場面に相応した応答ができるように支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・司会進行を担当する。 ・セリフを十分に暗唱している生徒を中心に、セリフとセリフの間に注意するなど、自然な振り舞いになるように支援する。 		

	生徒の活動	教員の支援		指導の留意点
		JTE(T1)	ALT(T2)	
展 開	<p>4. スキットをする。(25分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・くじ引きの順番に従い、スキットを行う。 ・各グループの発表後、コメント用紙に感想を記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・司会進行がスムーズに進むように、英語教育支援員(ALT)を補助する。 	<p>○司会進行をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>Ladies and gentlemen. Welcome to ___ show. Let's enjoy your classmate's skits. The first skit is group No.1. Their title is ___.</p> </div>	
ま と め	<p>5. まとめをする。(3分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コメント用紙を提出する。 ・家庭学習の内容を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スキットの講評を行う。 <p>○家庭学習の課題を提示する。</p> <p>【テーマ】 疑問詞 what と、命令文 (Don't) を用いたスキットを考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スキットについての講評を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語の絵日記はまとまりのある内容にするために5文程度の分量を書かせる。

